

ごあいさつ

日ごろから熊本博物館事業につきましてご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。

このたび平成29年度における熊本博物館並びに塚原歴史民俗資料館の一年間の活動記録と学芸員の研究報告をまとめた館報を発刊する運びとなりました。

熊本博物館は、ご承知のとおりリニューアル工事のため平成27年7月から全館を休館しており、多くの皆様がリニューアルオープンを楽しみにお待ちいただいていることと思います。

現在、当館は建築改修工事、展示施設の改修も終わり、「未来へつなぐ熊本の記憶」を展示の全体テーマ（基本理念）に据え、平成30年12月のリニューアルオープンに向けて常設展示・特別企画展の準備や収蔵品解説の整備等に本館の職員一同全力で取り組んでおります。ぜひ、新しくなった熊本博物館にご期待いただきたいと思います。

そのような中、平成29年度の本館の活動では、青少年が楽しく活動しながら自然科学の原理や技術を学ぶことを目的に「子ども科学・ものづくり教室」を当館所管資料館である南区城南町の塚原歴史民俗資料館研修室を主会場として25回開催しました。この事業は平成11年度から始めた事業で、平成29年度で19年目となりました。これまでに多くの子どもたちが参加し、毎回好評を得ています。

また、当館と学校との連携（博学連携）の必要性、重要性がますます高まる中、学校教育支援事業にも力を注いでいます。この事業は、専門的な知識と技能を有する学芸員を学校の要請に応じて派遣し、社会科や理科、総合的な学習の時間などを中心に学習内容の充実に寄与する「ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）」と、リニューアルオープン後の学校団体向けオリエンテーション等で展示資料（数点）の魅力を伝える「館内学習支援活動（お迎え事業）」の2本柱から成ります。平成29年度は、派遣授業を継続しながらお迎え事業の準備として『館内学習プログラム集』を作成し、市内全ての小中学校に配布したところです。今後も博学連携の推進に向け、周知と積極的な活用を図っていきたいと考えています。

塚原歴史民俗資料館におきましては、一年間を通した古文書講座や考古学講座の開催をはじめ、夏休み中の小中学生を対象にした「夏だ!! わくわく古代体験教室」など、たくさんの講座を開催し、年齢を問わず多くの皆様に考古・歴史・民俗資料の魅力や価値に触れ、理解を深めていただく機会の創出に努めています。今後もこのような取り組みを引き続きしっかりと進めてまいりたいと思います。

平成30年度は先に述べましたように、リニューアルオープンを予定しております。今後もオープンに向けて具体的な準備を進めてまいりますので、多くの皆様から当館活動に対する一層のご指導を賜りたく存じます。どうぞ、よろしく願いいたします。

平成30年6月

熊本博物館長 植木 英貴

目 次

ごあいさつ

目次

I 学芸活動

1	展示	1
2	企画展示会	1
3	教育普及	1
	(1) 観察会・見学会	
	(2) 教室・講座（子ども科学・ものづくり教室）	
	(3) 学校教育支援事業	
	(4) 総合的な学習の時間等への参加	
	(5) 学校以外への講師参加	
	(6) プラネタリウム	
	(7) 教職員研修	
	(8) 博物館実習生の受け入れ	
	(9) ナイス・トライ事業の受け入れ	
	(10) 社会体験研修	
4	収集保存	17
	(1) 資料のデータベース化	
	(2) 寄贈資料	
	(3) 資料の利用	
	(4) 資料の保存	
	(5) 資料整理作業	
5	報告	20
6	調査・研究	22
7	平成29年度 熊本博物館活動概況一覧	24

II	リニューアルの概要と経緯	26
----	--------------	----

III 運営

1	利用状況	33
---	------	----

IV 資料

1 運営組織	34
2 博物館協議会	35
3 博物館のあゆみ	36
4 施設概要	40

V 調査・研究

1 文安元年の六地藏幢について 竹原 明理	43
2 熊本博物館リニューアルに伴う館内環境調査について 甲斐 由香里	49
3 北野家文書及び新出の加藤清正・忠広知行宛行状について 木山 貴満	61
4 細川忠利所用甲冑の寄贈について 木山 貴満	66

VI 塚原歴史民俗資料館

1 概要	67
2 学芸活動	69
(1) 展示	
(2) 教育普及	
(3) 収集保存	